

世界中を走るルームランナーの製作

尾花 慎也



写真1 室内に居ながら世界を旅できる装置を試作した

写真2 Kinectの前でピョンピョン跳ねる
一応、走っているつもり

装置の概要

● 世界中をマラソンで走破しちゃう

マイクロソフトが開発したゲーム機用モーション・センサKinectは、骨格情報を抽出して人間の動きを検出できます。ここではKinectを利用して、Googleストリートビューの世界を自由自在に走り回れるアプリケーションを紹介します(写真1)。あこがれの遺跡や宮殿の中、はたまたアマゾン川をボートのように進むこともでき、なかなか楽しいものです。筆者も開発よりもジョギングが楽しくなっちゃって、何度も文字通り寄り道しながら開発していました。主な機能は以下となります。

- (1) ストリートビュー上を前進する
- (2) 進行方向を変える
- (3) 上空を見上げる、地面を見下ろす
- (4) ジェスチャで地図を操作し別地点に移動する

必要な機器はパソコンとKinect(14,800円)だけです。画面は大きいほうが見やすいので、ノート・パソコンの場合は別モニターがあったほうがよいでしょう。

アプリケーションを起動したら、地図上の好きな地点を

選択して、ストリートビューを表示、あとはKinectの前でジョギング動作をするだけで好きなルートに進むことができます(写真2)。

▶ 動画もあります

実際の動作はYouTube動画『Kinectで世界をジョギング!「ジョグ・ザ・ワールド」』(<http://www.youtube.com/watch?v=fIQZFwdgZyg>)をご覧ください。この動画は参考文献(1)のウェブ・ページからも見られます。

● コンテストでもアイデア賞をゲット

このアプリケーションは9月に実施されたKinect for Windows コンテスト2012(<http://k4wa.com/>、企画・運営は東京エレクトロニクス)において、アイデア賞を受賞しました。提案した企画の最終的なイメージは図1のように、ルームランナーと連動する製品として考えたもので、現時点ではその簡易的なプロトタイプとしての位置づけになります。

● 少しの工夫で楽しいアプリができた

アプリケーションの構成は図2のとおりです。Kinectに関する主な処理はC#で開発しており、画面周りはWPF